

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立長居小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は明治28(1895)年12月6日に創立され、令和7年度に創立130周年を迎えました。「長居はひとつ」を合言葉に、長きにわたり学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む教育活動を推進しています。

校訓である「明るい子」「正しい子」「やさしい子」の育成を基盤とし、めざす子ども像として「学ぶ楽しさを知る子」「思いやりのある子」「たくましい体をつくる子」を掲げ、全職員で教育活動に取り組んでいます。

令和8年4月現在の児童数は728名、学級数は37学級(通常学級23、特別支援学級12、他校通級2)です。令和9年1月から令和12年2月まで西校舎改築工事が予定されており、運動場の使用が長期間制限される見込みです。安全を最優先に確保しつつ、限られた環境下でも教育の質を維持・向上させる工夫が求められる時期にあります。

本校の特色ある取り組みは、次のとおりです。

<音楽の長居>

昭和から続く伝統行事「校内音楽会」を中心としています。学級単位の合奏や学年単位の合唱を通じ、互いに認め合い、支え合う心とともに、表現に対する主体的な態度を養っています。「長居ジュニアバンド」(金管バンド)も4～6年生の参加希望児童で活動しています。

<理科の長居>

理科が好きな児童の育成をめざし、授業と学校生活の両面から科学的な探究心の向上を図っています。大阪市総合教育センター研究校(理科教育の充実)の指定を受けて3年目を迎え、研究の深化と自由研究の充実に努めています。

<長居植物園オリエンテーリング>

本年度で45回目を数える伝統行事です。長居青少年育成協議会、はぐくみネット、PTAの皆様のご協力のもと、4年生が参加し、体力や郷土愛を育む貴重な機会として継続しています。

【安心・安全な教育の推進について】

- ・令和7年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答した児童の割合は84.2%で大阪市平均を1.2ポイント上回った。
- ・令和7年度小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答した児童の割合は91.9%で、大阪市平均を1.4ポイント上回った。
- ・令和6年度の不登校児童の在籍比率は3.24%で、不登校改善の状況は57.1%であった。不登校等について、SC、SSW、区役所子育て相談室、こども相談センター等と密に連携し、組織的な対応を継続する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上について】

- ・令和7年度小学校学力経年調査において、次の学年、教科で市平均を上回った。
(6年理科・英語、5年算数・理科・英語、4年全教科、3年全教科)
- ・令和7年度全国体力・運動能力調査において、男子5種目、女子3種目で市平均を上回った。体力合計点については、男子は市平均を1.3ポイント上回り、女子は0.1ポイント下回った。

【学びを支える教育環境の充実について】

- ・学習者用端末の家庭への持ち帰りが定着した。学習場面における機器の活用や教職員の業務の効率化を進める必要がある。
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1は、時間外勤務の上限を「月45時間」「年間360時間」としている。長時間の時間外勤務が常態化しているため、ゆとりの日を継続して設定し、時間を意識できる取り組みを継続していく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和11年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(令和7年度 84.3%)
- ・令和11年度の小学校学力経年調査・校内調査の「自分には、よいところがありますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
(令和7年度 84.9%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和11年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
(令和7年度 79.1%)
- ・令和11年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を91%以上にする。(令和7年度 90.1%)

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和11年度の小学校学力経年調査・校内調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」の項目について、週3回以上と回答する児童の割合を71%以上にする。
(令和7年度 70.5%)
- ・令和11年度の教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を、令和7年度より1時間削減する。(令和7年度 29時間39分)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。(令和7年度 85.4%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(令和7年度 84.9%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(令和7年度 79.1%)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。
(令和7年度 87.3%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を77%以上にする。(令和7年度 76.1%)
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を、月29時間以下とする。
(令和7年度 29時間39分)

3 本年度の自己評価結果の総括

| |
|--|
| |
|--|

(様式2)

大阪市立長居小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

| | |
|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 A: 目標を上回って達成した | B: 目標どおりに達成した |
| C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| 【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。(令和7年度 85.4%) ○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(令和7年度 84.9%) | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| 取組内容①【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の充実】 ・児童の社会性の向上をねらい、主体性をもってさまざまな活動に取り組むことができる児童を育てていく。 | |
| 指標 ・児童が自主的に企画・運営するイベントや活動を、各学級で学期に1回以上実施する。 ・係活動や委員会活動、当番活動など、児童が活躍できる場を学年に応じて設ける。 | |
| 取組内容②【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の充実】 ・学校生活に楽しみを見出し、安心して登校できる児童を増やす。 | |
| 指標 ・学校評価児童アンケートにおける「学校行事を楽しみにしている」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。 ・学校行事の前後に、見通しを持てる声掛けや次につながるような振り返りを行う。 | |
| 取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ・たてわり班活動や児童会行事を通して異学年交流を深め、互いを思いやり、助け合い支えあっていこうとする気持ちを育む。 | |
| 指標 ・異学年交流をする機会を学期に1回以上設ける。 ・たてわり班での児童会行事を、学期に1回以上実施する。 | |

| | |
|---|--|
| <p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して人権課題に対する正しい知識と認識を深める授業実践により、児童の人権尊重に関わる道徳心を高める。 ・学年に応じた自己肯定感、自己有用感を高めるための取り組みを行う。 | |
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価児童アンケートにおける「自分のしたことで、褒められたり感謝されたりしたことがある」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を75%以上にする。 ・児童に対して継続的に、肯定的な声掛けを行う。 | |
| <p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> | |
| | |
| <p>最終評価にむけての改善点</p> | |
| | |

大阪市立長居小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

| | |
|---------------------|------------------------|
| 評価基準 A：目標を上回って達成した | B：目標どおりに達成した |
| C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 (令和7年度 79.1%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。 (令和7年度 87.3%)</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|---|------|
| <p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びに向かう学習活動を通して、児童が自分の思いを伝える力と聞く力を育てていく。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の意見と友達の意見を比べながら聞いて話し合う場を1日1回以上設定する。 | |
| <p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動に主体的に取り組み、話し合いで考えを深めていくことのできる児童を育てていく。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 活発な話し合い活動ができるように、根拠を明確にして自分の考えやその理由を、伝える場を設ける。1日1回以上を目標とする。 | |
| <p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が自らの課題を見だし、その解決に向けて主体的に体育の授業に取り組む態度を育成する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育科の授業において、学習のめあてを明確にするとともに、振り返りを行う時間を適切に設定する。 | |
| <p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちと一緒に体を動かす楽しさを味わう機会を増やす。 | |

| | |
|--|--|
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級で月3回以上、運動場でのみんな遊びを設定する。 | |
| <p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動に親しむ活動の内容や場所づくりを工夫し、自ら体力づくりに取り組む児童を育てる。 | |
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 高学年児童と協働して、体を動かす取り組みを年3回設定し、実施する。 | |
| <p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> | |
| | |
| <p>最終評価にむけての改善点</p> | |
| | |

大阪市立長居小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

| | |
|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 A: 目標を上回って達成した | B: 目標どおりに達成した |
| C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 77%以上にする。(令和 7 年度 76.1%)</p> <p>○教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を、月 29 時間以下とする。 (令和 7 年度 29 時間 39 分)</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| <p>取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が学習者用端末の操作に慣れ、日常的に I C T 機器の活用を進められるようにする。 | |
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> スクールライフノートの活用を進め、全学年で「こころの天気」の入力を毎日行う。 | |
| <p>取組内容②【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末の活用を推進し、効果的に I C T 機器を活用していくことができるようにする。 | |
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習や連絡帳、授業などで、毎日学習者用端末を活用するようにし、全学年の児童が、学習者用端末の持参・持ち帰りをを行うようにする。 | |
| <p>取組内容③【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末のより効果的な活用をすすめるために、教職員の指導技術向上をはかる。 | |
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末の活用を扱った教職員の指導技術向上を図る研修会を年間 3 回以上行う。 | |
| <p>取組内容④【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員会議、部会、打ち合わせ会等の効率化を進め、事務連絡・集計作業に係る時間を削減する。 | |

| | |
|--|--|
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Teams や Forms だけでなく生成 AI も活用し、さらなる業務の効率化を図る。 | |
| <p>取組内容⑤【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゆとりの日を設定し、勤務時間の適正化を図る。 | |
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の行事予定でゆとりの日を設定し、計画的に業務を行い、教職員の 18 時退勤をすすめる。 | |
| <p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> | |
| | |
| <p>最終評価にむけての改善点</p> | |
| | |